

# 壁掛型据付説明書

据付工事前にお読みになり、正しく据え付けてください。

この据付説明書は、お客様が保管していただくように依頼していただきます。据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法・お手入れの仕方を説明していただきます。

家庭用エアコンにはGWP（地球温暖化係数）が675のフロン類（R32）が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。

RLJ012A001B  
202305

**< 据付必要工具 >** (◎: R32またはR410A専用工具、◆: 一般工具)

- ◎フレアツール ◎真空ポンプアダプター ◎ゲージニホルド
- ◎チャージホース ◎リークディテクター ◎出し代調整用銅管ゲージ\*
- \* R22用のフレアツールを使用する場合のみ

**◆ ドライバー ◆ バイブカッター ◆ 真空ポンプ ◆ ナイフ**

- ◆ 巻尺 ◆ 六角レンチ (呼び4) ◆ バイブハンダー ◆ ゴノコギリ
- ◆ リーマ ◆ スパナ ◆ ホールコアドリル (φ65mm)
- ◆ トルクレンチ ◆ 液側 : 17mm 14~18N・m (1.4~1.8kgf・m) (φ6.35)
- ◆ ガス側 : 22mm 34~42N・m (3.4~4.2kgf・m) (φ9.52)
- ◆ ガス側 : 26mm 49~61N・m (4.9~6.1kgf・m) (φ12.7)

**< 現地手配品 >**

- 接続配管 (液側・ガス側共2種 (R32またはR410A) 用)
  - ・液側φ6.35・ガス側φ9.52 (22~56タイプ)、φ12.7 (63~80タイプ)
- 内外接続配線 (VVFケーブル3心φ2.0mm)
- スリーブ (配管穴蓋) ● 延長ドレンホース ● 延長ドレンホース
- 配管クランプ ● インターフェイスキット (SC-BIKN2) (別売品)

## 1. 付属部品の確認 (室内ユニットと同梱しています)

室内ユニット用				室外ユニット用	
① 据付板 1枚	② タッピンねじ (据付板用φ4×25) 9本	③ リモコン 1個	④ リモコンホルダー 1個	⑤ リモコンホルダー取付用ねじ (φ3.5×16) 2本	⑥ ドレンエルボ 1個
⑥ 単3形乾電池 2本	⑦ 空気清浄フィルター 1個	⑧ フィルターホルダー 2個	取扱説明書 据付説明書 (本書) 保証書 各1部		⑨ グロメット 1個

① 据付板は室内ユニット裏面に付属しています。⑧ フィルターホルダーは室内ユニットに付属しています。

## 2. 据付場所の選定

以下の条件に合う位置に、お客様の同意を得て据え付けてください。

- 室内ユニット**
- 風の障害がなく、部屋に冷風風が行き渡る所
  - 本体を水平に据え付けられ、重量を十分に支えられて、運転音や振動が増大しない所
  - 図の●印の間隔を取れる所
  - ドレン排水が容易にできる所
  - テレビ・ステレオ・ラジオから1m以上離れている所 (映像が乱れたり、雑音が生じたりすることがあります)
  - 高周波機器、電気機器の影響を受けない所
  - 油の飛沫の多い所をさける
  - 受信部に直射日光や強い照明灯の光が当たらない所
  - 電子式点灯方式 (インバータ等) の蛍光灯からできるだけ離れている所 (リモコンの送信距離が短くなる場合があります)
  - 火災警報器からエアコン (吹出口) が1.5m以上離れている所
  - 吸込口・吹出口付近がぶさがれない所
  - ユニット下面から床まで1.8m以上離れている所
  - 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質が発生する所をさける

**電源電圧**

- 機種により電源電圧が異なります。(異常電圧投入はコントロールの破損)
- 電源プラグを差し込む際は、コンセントにガタツキがないことを確認する。(焼損の原因)
- コンセントにガタツキがある場合は交換する。
- 電源コードを束ねたり巻き加工しないこと。(発熱・火災の原因)

コンセントの形状	電源コードの長さ	
	左出し	右出し
100V 15A機	約1.2m	約2.0m
100V 20A機	約1.2m	約2.0m
200V 20A機	約1.2m	約2.0m

## 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる内容を次のように区分して説明しています。

■ お守りいただく内容を「図符号」で区分して説明しています。

<b>警告</b>	死亡または重傷等の重大な結果に結び付くおそれがあるもの。	<b>絶対に行わない。</b>
<b>注意</b>	ケガや財産に損害を受けるおそれがあるもの。状況によっては重大な結果に結び付くおそれがあるもの。	<b>必ず指示に従う。</b>

**警告**

- 指定冷媒 (R32) 以外は使用 (冷媒補充・入替え) しない。(機器の故障・破裂・ケガ等の原因)
- 冷凍サイクル (配管) 内に、指定冷媒 (R32) 以外の空気等を混入させない。(冷凍サイクル内が異常に高圧になり、破裂・ケガ等の原因)
- 電源コードの加工、途中接続、タコ足配線はしない。
- 電源コードを束ねたり、巻きたり電源プラグを踏むなどして変形させない。
- ドレンホースは、硫黄系ガス等有害ガスの発生する排水溝に直接入れない。(室内への有毒ガス侵入・故障・冷媒漏れの原因)
- 据付工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実にを行い、据付工事部品は必ず付属部品および指定の部品を使用する。
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実にを行う。(ユニットの落下・水漏れ・感電や火災の原因)
- 電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。(感電・火災の原因)
- 漏電しゃ断器を取り付ける。(感電・火災の原因)
- ユニット内の作業 (据付時やサービス時等) を行うときは、電源を切ってから行う。(感電の原因)
- 内外接続配線は、途中接続やより線の使用をせず、所定のケーブルを使用し、端子台へ確実に接続する。(発熱・感電・火災の原因)
- 内外接続配線は、浮き上がらないように整形し、リッド、サービスパネルを確実に取り付けする。(発熱・感電・火災の原因)
- 電源プラグを差し込む際は、刃の根元まで確実に差し込む。電源プラグだけでなく、コンセント側にもホコリの付着、詰まり、ガタツキがないことを確認する。(ホコリの付着・詰まり・ガタツキがあると、感電・火災の原因)  
\*コンセントにガタツキがある場合は交換する。

**警告**

- 配管・フレアナット・工具は、R32またはR410A専用のもを使用する。(R22の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂、ケガ等の重大な事故の原因)
- 据付作業時は、保護メガネ、保護手袋を着用する。(ケガの原因)
- フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付ける。(締め過ぎると、長期経過後フレアナットが割れ、冷媒漏れの原因)
- 据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける。冷媒配管工事、気密試験および真空引きが完了するまでは、操作弁 (ガス・液側共) を開けない。(冷媒配管を取り付けられておらず、かつ操作弁開放状態で圧縮機を運転すると、空気等を吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂・ケガ等の原因、急激な冷媒漏れによる凍傷・ケガの原因)
- ポンプダウン作業は、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する。(圧縮機を運転したまま、操作弁を開放状態で冷媒配管を外すと、空気等を吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂・ケガ等の原因)
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気をする。
- 据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。(冷媒が気化に触れると、有毒ガスが発生する原因)
- アース (接地) を確実に行う。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話や他のアース線に接続しない。(感電・火災の原因)

**注意**

- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所、引火物のある場所へ据え付けない。(発火の原因)
- 室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない。(ケガの原因)
- 室外ユニットの上に物を置いて運転を行わない。(落下物によるケガの原因)
- 室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所には設置しない。(小動物が侵入して内部の電気部品に触れると、故障や発熱、発火の原因)  
\*お客様に周辺をきれいに保つことをお願いします。
- ドレン工事は、この据付説明書に従って確実に排水するように配管する。(屋内に浸水し、家財等を濡らす原因)

## 3. 据付板の取り付け

据付板は水平に取り付けてください。

**壁に直付けする場合**

- 壁内の構造物 (間柱等) をさがして水平を確認してから強固に取り付けてください。間柱等をさがすが困難な場合は、市販のボードアンカー等を使用してください。
- 壁が石膏ボードの場合、必ず金属製のカサ式ボードアンカーを使用してください。ねじ込み式のアンカーは使用しないでください。(締め過ぎると、保持強度が極端に落ちる場合があります。)
- 据付板の水平調節は、2本のタッピンねじを仮締めした状態で行ってください。基準穴を中心に回転させ、水平になるように調節してください。

**\*ねじは9本のうち5本は必ずX印の箇所に打ってください。残ったねじは点線内のねじ穴に各2本打ってください。\***

**回り縁と鴨居に据え付ける場合**

- 真壁据付用セット (HA08124) (別売品) を使用してください。
- 据付板は、水平を確認してから固定してください。
- 据付金具は、420mm~700mmの間で調節できます。
- 真壁据付用セットに付属のねじを使用してください。

## 4. 壁穴あけ・スリーブのはめ込み

壁穴用スリーブセット (現地手配品) を使用してください。

- 内外接続配線が壁の中のラスメタル等に接触する危険があるため、スリーブは必ず使用してください。
- 水漏れ・露たれのおそれがあるため、壁穴をパテで完全にシールしてください。

1. ホールコアドリル (φ65mm) で、室外側へ下向きに斜めに穴をあける。

2. 壁の厚さに合わせて、スリーブを切断する。

- ・スリーブのツバが本体からはみ出ることがあります。その場合、ツバを切断してください。
- ・後抜き配管の場合、スリーブのツバの下部および右側薄肉部を切り取ってください。(破線指示箇所)

3. スリーブを壁にはめ込む。

## 5. 室内ユニットの配線接続 (1/2)

**警告**

- 内外接続配線は VVF ケーブル 3心 φ2.0mm を使用する。(故障・火災の原因)

- 内外接続配線の被覆を18mmむく。
  - ・内外接続配線長さは、25m以内とする (ユニット間の信号エラーとなり、ユニットが停止する原因になります)。
  - ・より線は絶対に使用しないでください。
- 底面パネルを取り外す。
  - ・キャップ内のねじを外す (3か所)。
  - ・底面パネルの左右側面のツメ (2か所) を内側に押し外す。
- 前面パネルを開け、ねじを外し端子台カバーを取り外す。
- ねじを外し、配線クランプを取り外す。

- 内外接続配線を端子台に接続する。
- 内外接続配線に配線クランプを取り付け、ねじで固定する。
- 端子台カバーを取り付け、ねじで固定する。
- 底面パネルを取り付け、ねじで固定する。

## 5. 室内ユニットの配線接続 (2/2)

- 端子台接続時の注意点
  - ・内外接続配線は、端子台の奥までしっかりと挿入してください。(心線が曲がっていたり挿入が不完全な場合、接触不良となり、発熱・火災の原因になります。)
  - ・のぞき穴から心線が見えることを確認してください。
- 端子番号を間違えないように接続してください。(誤配線すると、室内ユニットの運転ランプとタイマーランプが点滅し、運転が停止します。)  
指定配線以外の太さを使用した場合も、停止の原因があります。

## 6. 室内ユニットの配管・ドレンホース整形

配管は、左・左後・左下・右・右後・右下から取り出せます。

**右後取り出しの場合**

- 配管を整形する。配管の根元を押さえ、向きを変え、伸ばしてから整形してください。
- テープ巻きする。
  - ・壁穴に通す長さだけテープ巻きしてください。
  - ・内外接続配線は、必ず配管とテープングしてください。
  - ・ドレンホースが引っ張られないように注意してください。

**右後取り出し以外の場合**

- ドレンホースを付け替える。ドレンホースとドレンキャップは確実に差し込んでください。(水漏れの原因になります。)
- ドレンホース固定用ねじを外し、ドレンホースを回転させながら外す。
- ドレンキャップを手またはベンチ等で外す。
- 上記(2)で外したドレンキャップを六角レンチ等で確実に差し込み、(4)ドレンホースを回転させながら確実に差し込み、固定用ねじで固定する。

2. 配管を整形する。

3. テープ巻きする。

## 7. 室内ユニットのドレン工事

ドレンホースは、ドレン水が流れやすいように必ず下向きに配管してください。

- ドレンホースと配管類をまとめて壁穴に通す。
  - ・下向きに配管する。
  - ・ドレンホース先端と地面の間隔は50mm以上。
  - ・高くしない。
  - ・ドレンホース先端を水につけない。
  - ・波うたせない。
  - ・先端を上げない。
  - ・先端を排水溝の中に入れない。
- ドレン排水を確認する。
  - 延長ドレンホースが室内にある場合は、必ず市販の断熱材を使用して確実に断熱してください。
  - 気密性の高い部屋等で換気扇を使用したときや強風を受けた場合、「ポコポコ」という音があることがあります。エアークットバルブ (EA455A-1) (別売品) を取り付けてください。

## 8. 室内ユニットの取り付け

- 室内ユニット上部を据付板に引っかける。
- 室内ユニット下部を軽く押し込み、据付板に固定する。
  - 固定後、室内ユニット下部を手前に引っ張り、確実に固定されていることを確認してください。

**電源コードの収納について**

電源コードが余った場合、室内ユニット背面のスペースのある所にゆつたりと収納してください。

